



## 巻 頭 言

公立大学法人 名桜大学

総合研究所所長 田 邊 勝 義

今年度の名桜大学総合研究所『総合研究』を発刊いたします。名桜大学は、今年度、創立20周年、公立化5周年を迎えました。この節目の年の『総合研究』として、発刊できますことを嬉しく思っております。この『総合研究』は、学術論文である名桜大学総合研究所紀要と平成26年度総合研究所の年次報告が一体化しております。昨年度からこの形態となっており、名桜大学総合研究所の総合機関誌としての位置づけとなっております。

本年度は、平成26年度に投稿された原著論文1件、研究ノート1件、調査報告書1件の合計3件の論文を掲載しております。また、年次報告では、平成26年度に実施した業務内容や研究支援に関する実績について報告しております。

そして、今年度は、新たに制定された出版助成を1件、初めて行いました。これは、名桜大学で積み重ねてきた学術成果を本にまとめ上げて出版する際の出版費用を助成するものです。助成額は、出版費用の80%以下で150万円を上限として助成されるもので、本学として画期的な取り組みとなります。この助成の仕組みが更なる研究推進の起爆剤となることを願っています。

総合研究所では、研究推進施策として、本学での任用期間の浅い方々が新しい研究を開始するために必要な研究資金を少額ながら助成する試みを来年度から開始する予定となっております。外部資金に応募し、資金を獲得するためには、説得力のある研究計画と実現の可能性の見える内容を書く必要があります。そのために、本研究助成費を利用して基礎的な研究実績を積んで頂き、研究会等への発表実績を作り、研究計画が確かに遂行できる研究者であると示すことが重要です。このような研究支援の新たな仕組みをこれからも創出し、研究環境の充実と研究成果を創出しやすい支援体制の構築に努めて参りたいと存じます。

総合研究所が更に発展していくためには皆様のご協力とご支援が必要となります。この度発刊いたします『総合研究』をご一読頂き、忌憚のないご意見を賜りますと幸いです。